

教科 国語 科

科目	古典探究	学年・コース	2 学年 進学 コース	単位数	2 単位	区分		必修	
学習の目標	古文と漢文の読解力を養う。 古典文学作品を読み味わいながら、自分自身のものの見方や感じ方、考え方を深める。								
教科書	『新編古典探究』（東京書籍）								
補助教材等	『体系古典文法』（数研出版）、『重要古文単語315改訂版』（桐原書店） 『新編古典探究学習課題ノート』（東京書籍）、『基本セミナー漢文入門』（浜島書店）								
学期	月	学習内容			学習のねらい			時間	
1 学 期	4	『十訓抄』 大江山の歌 【文法】「動詞の活用」			助字や語法に注意して、正確に口語訳できるようにし、全体の内容を把握、理解する。 動詞の活用と活用の種類を理解する。			4 2	
	5	『伊勢物語』第9段～「あづま下り」～			話の構成や展開、和歌の修辞技法に注意しながら、古人のものの見方や考え方を読みとる。			4	
	6	『徒然草』 丹波に出雲という所あり 【文法】「助動詞」（過去・完了・打消） 「係り結びの法則」			人々の様子を読み取り、当時の出雲信仰について理解する。 助動詞の活用と接続、本文中での文法的意味を理解し、判別できるようにする。			6 3	
2 学 期	7	『蛇足』・『知音』			音読を通じて漢文訓読の基本を確認し、故事成語の持つ寓意、作者の意図を読み取る。			4	
	8	『竹取物語』～「天の羽衣」～			登場人物間の関係をつかみ、心情の推移を読み取り、古人のものの見方や感じ方をとらえる。			6	
	9	【文法】「形容詞と形容動詞」			動詞の種類と活用形について確認しながら、形容詞・形容動詞の種類・活用を理解する。			3	
	10	『静夜思』・『送元二使安西』 【文法】「助動詞」（伝聞・比況）			唐代の詩に触れ、リズムを感じながら音読する。			5	
	11	『史記』～「鴻門の会」～ 【句形】「再読文字」「否定形」「疑問形」			登場人物相互の関係を正しくとらえ、それぞれの人柄や心理描写を理解する。			7	
	12	『方丈記』「ゆく河の流れ」 【文法】「敬語動詞」「助動詞」（推量）			『方丈記』の特色を表現の面から理解する。 敬語動詞の働きを理解し、本文中の登場人物の関係性を把握できるようにする。			4 3	
3 学 期	1	『史記』～「四面楚歌」～ 【句形】「疑問形」「反語形」「否定形」			登場人物の関係性をとらえ、心情の推移を読み取る。基本句形や故事成語の由来を理解する。			6	
		『源氏物語』～「光源氏の誕生」～			帝と更衣の愛情に対する周囲の人々の反応、皇子誕生による波紋などを読み取る。			4 6	
	2	【文法】「助動詞」（推量・断定）、係り結び 「敬語動詞」			敬語表現を正しく理解し、動作の主体や敬意の方向を理解する。			3	
評価の観点	知識・技能	語句の意味、用法を的確に理解している。文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえている。							
	思考・判断・表現	文章や資料を正しく読み解き、適切に解答を書くことができる。							
	主体的に学習に取り組む態度	語彙の習得や文章の読解に興味・関心を持ち、意欲的・計画的に学習している。							